

2018年9月14日

デイトリウムジャパン合同会社

Datrium がサムスンなどから約 66 億円の資金調達を実施

米国カリフォルニア州に拠点をもつ新世代ハイパーコンバージド インフラストラクチャー システム (HCI) 企業の Datrium (デイトリウム) は、シリーズ D で当初の希望金額を上回る 6 千万ドル (約 66 億円) の資金調達を実施したと発表しました。今回の資金調達は、アーリー ステージの新興企業向け投資ファンドである Samsung Catalyst Fund にて先導され、Icon Ventures ならびに前シリーズまでに投資を行っている NEA と Lightspeed Venture Partners と共に実施されました。

そしてこの度、Icon Ventures の Michael Mullany (マイケル ムラニー) 氏が Datrium のボード メンバーに任命されました。Mullany 氏はシリコンバレーでの長いキャリアを持ち、かつて VMware 社のマーケティング担当副社長を務めました。

Samsung Catalyst Fund のシニア バイス プレジデント兼マネージング ディレクター、Shankar Chandran (シャンカールチャンドラン) 氏は、今回について次のように述べています。「Samsung はメモリーとストレージ技術の世界的リーダーとして、常にデータセンター技術を進歩させる斬新で革新的な方法を模索しています。Datrium のような最先端のハイブリッド クラウド プラットフォームは、企業がデータ分析とストレージの性能問題を克服するのに役立ちます。今はこのような技術を持った企業に対しての投資家になることに興奮しています」。

また、Datrium の CEO である Tim Page (ティム ペイジ) は、次のように述べています。「私たちは技術の向上に加えて地理的な勢いを拡大させるために Samsung と Icon Ventures と提携することを嬉しく思います。企業は、オンプレミスとクラウドを連携するにあたり、データの処理と運用管理を簡素化する上で世界的に同じ問題を抱えています。SAN ストレージではクラウドとの連携が難しく、従来の HCI においてもコア データセンターとして運用させるには多くの課題を抱えています。データのバックアップを行うには別途システムを用意する必要があり、クラウドへの災害対策を自動化させる技術も持ち合わせていません。企業の規模が大きいほど Datrium のソフトウェア技術がもっともシンプルにハイブリッド クラウド環境を提供すると認識しはじめています」。



Datrium DVX

2018年2月に発表した「Cloud DVX」は、DatriumのHCIプラットフォームである「Datrium DVX」のデータをAmazon Web Serviceにバックアップするソフトウェアです。メガクラウドのランニングコストを従来型のソリューションと比較して1/2から1/10に削減することができるため、企業でのハイブリッドクラウド化の促進が期待できますが、すでにDatrium DVXを新規に導入した30%以上の企業がハイブリッドクラウド化を実現しています。金融、ヘルスケア、製造、エンターテインメントなど、あらゆる業種に渡るFortune 100の顧客がDatriumを利用してハイブリッドクラウドの運用を簡素化しています。また、Datriumは、[Gartner Peer Insightsに関する67件のレビュー](#)（\*注）において最高評価の5ポイントを維持し続けています。

（\*注）2018年9月6日現在。Gartner Peer Insightsのレビューは、個人の経験に基づいて個々のエンドユーザーの主観的意見を構成し、Gartnerまたはその関連会社の見解を表すものではありません。

---

## デイトリウムジャパン合同会社について

デイトリウムジャパンは、米国デイトリウム社の日本法人として、2018年に設立されました。米国デイトリウム社は、ハイパーコンバージドインフラストラクチャー思想の先を見据えてデザインされたハイブリッドクラウドインフラストラクチャーをリードする企業です。同社のI/O高速化システムは、ハードウェアの限界を超えたI/Oの高速化を実現するとともに、コンピューティング、プライマリーストレージ、バックアップ、クラウドDRを統合し、ハイブリッドクラウドインフラストラクチャーの管理と保護を大幅に簡素化します。同社は、Data DomainのCTOや創業者、VMwareの初期のプリンシパルエンジニアが率いています。

---